

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、19～24℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり6kgの水揚げで、前週の1.5倍。壱岐勝本地区では1日当たり85kgの水揚げで、前週の9%（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり36kgの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり10kgの水揚げで、前週の24%（前年並み）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり772kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり50kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり140kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり289kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/5～11/9の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖～新潟沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）4日延27隻、総計1,983箱、1航海最高190箱、平均73.4箱。

スルメイカを漁獲、魚体は20～30入り。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>